

2013年11月21日

報道関係者各位

国際基督教大学献学 60 周年記念事業
サービス・ラーニングセンター設立 10 周年記念事業
サービス・ラーニングシンポジウム
『日本の教育的文脈におけるサービス・ラーニングの意義とこれからの展望』
ロバート・ブリングル博士 講演

● 取材のお問い合わせ

国際基督教大学 (ICU) アドヴァンスメント・オフィス 担当: 齊藤

Tel: 0422-33-3529 Fax: 0422-33-3763 E-mail: anniv60office@icu.ac.jp

● シンポジウムに関するお問い合わせ

国際基督教大学 サービス・ラーニングセンター

International Christian University Service Learning Center

Tel: 0422-33-3687 Fax: 0422-33-3685 Email: slc@icu.ac.jp

国際基督教大学 (ICU: 東京都三鷹市) は、12月7日 (土)、献学60周年記念事業一環として、今年設立10周年を迎えたサービス・ラーニングセンターの主催によるシンポジウム『日本の教育的文脈におけるサービス・ラーニングの意義とこれからの展望』を開催します。

基調講演では、サービス・ラーニングの理論家であり実践者であるDr. Robert G. Bringle (ロバート・ブリングル博士) が、アメリカでのサービス・ラーニングの歩みや今日の高等教育における意味と役割、そして今後の課題を語ります。

講演に続くパネル・ディスカッションでは、教育関係者、地域社会研究の専門家などと共に、日本の高等教育におけるサービス・ラーニングの広がりを総括し、サービス・ラーニングの今後の方向を探るための議論を行います。

シンポジウムを通じて、日本の教育的文脈のなかでサービス・ラーニングが持つ意義や可能性、また社会へのインパクトを俯瞰します。

シンポジウムは一般公開となっております。ぜひ取材・イベント告知欄への掲載をご検討ください。なお取材をご希望の場合は、別紙取材申請書をFAX (0422-33-3763) までご送付ください。

● ICUのサービス・ラーニング

サービス・ラーニングは、大学での学びと社会での実体験を結びつける教育プログラムです。個々の関心に応じて国内外の様々な場で30日相当の無償のサービス活動を行った上で、プレゼンテーションやレポートなどのコース要件を満たせば実習コースの単位を取得できます。ICUは2002年にサービス・ラーニング・センターを設立し、国内ではパイオニア的な存在として活動を続けています。

記

- 日 時： 2013年12月7日(土) 13:30~17:00
会 場： 国際基督教大学 東ヶ崎潔記念ダイアログハウス 国際会議室 2階 (建物番号 17番)
(東京都三鷹市大沢 3-10-2 : JR 中央線・武蔵境駅よりバス 12分)
キャンパスマップ：<http://www.icu.ac.jp/info/facilities.html>
言 語： 日本語/英語 (同時通訳あり)

プログラム

- 13:30 開会の挨拶 日比谷潤子 (国際基督教大学学長)
13:50-15:10 基調講演
"Reflections on the Role of Service Learning in High Education"
Dr. Robert G. Bringle
Kulynych/Cline Visiting Distinguished Professor of Psychology at
Appalachian State University / Former Executive Director (1994-2012) of
the IUPUI Center for Service and Learning
15:10-15:30 休憩
15:30-16:30 パネル・ディスカッション
Dr. Robert G. Bringle (Appalachian State University)
川島 啓二 (国立教育政策研究所 高等教育研究部 部長)
長沼 豊 (学習院大学 教授)
野原 健治 (社会福祉法人 興望館 館長)
西尾 隆 (国際基督教大学 教授/モデレーター)
16:30-17:00 質疑応答
17:00 終了

●一般の方もご参加いただけます。

氏名/所属大学・団体名/部・課・役職名(学生はその旨明記を)/ 電話番号/メールアドレス を
ご記入の上、11月27日(水)までに、slreg@icu.ac.jp へメールでお申し込みください。

※ シンポジウムは入場無料です。定員に達し次第、申込を締切らせていただきます。